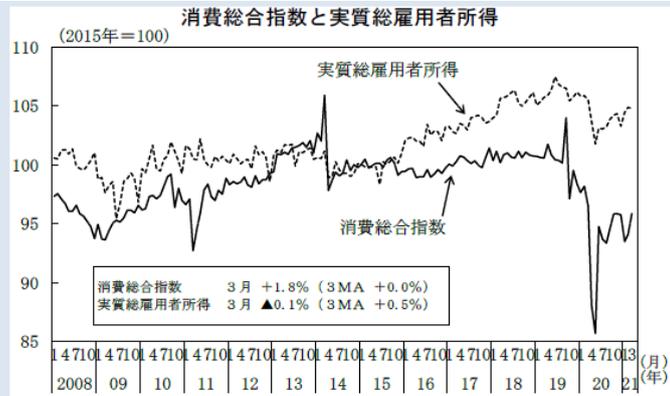


月例経済報告（2021年5月）

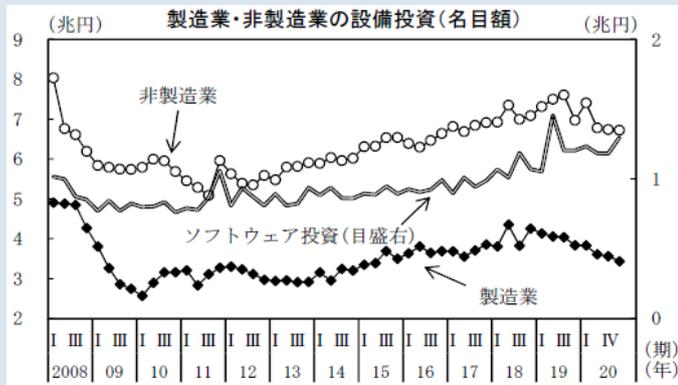
● 月例経済報告（5/26）

基調判断	(5月) 景気は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるなか、持ち直しの動きが続いているものの、一部で弱さが増している。 感染拡大の防止策を講じるなかで、各種政策の効果や海外経済の改善もあって、持ち直しの動きが続くことが期待されるが、内外の感染拡大による下振れリスクの高まりに十分注意する必要がある。また、金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある。
	(4月) 景気は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるなか、持ち直しの動きが続いているものの、一部に弱さがみられる。 感染拡大の防止策を講じるなかで、各種政策の効果や海外経済の改善もあって、持ち直しの動きが続くことが期待されるが、内外の感染拡大による下振れリスクの高まりに十分注意する必要がある。また、金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある。

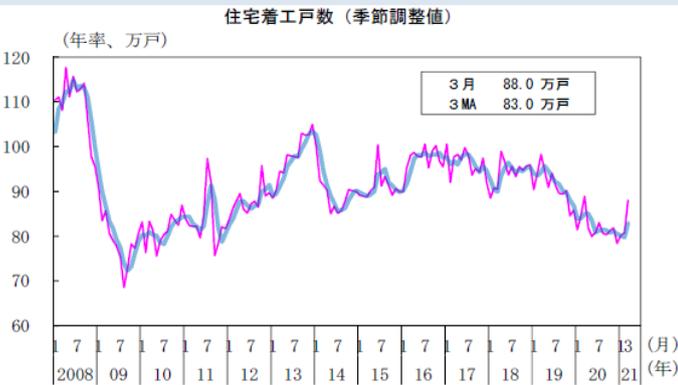
個人消費	(5月) <u>このところサービス支出を中心に弱い動きとなっている。</u>
	(4月) このところ弱含んでいる。



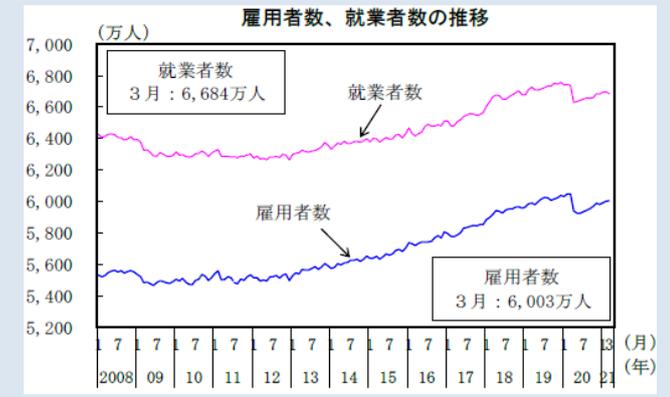
設備投資	(5月) 持ち直している。
	(4月) 持ち直している。



住宅建設	(5月) おおむね横ばいとなっている。
	(4月) おおむね横ばいとなっている。



雇用情勢	(5月) 感染症の影響により、弱い動きとなっているなかで、雇用者数等の動きに底堅さもみられる。
	(4月) 感染症の影響により、弱い動きとなっているなかで、雇用者数等の動きに底堅さもみられる。



<p>生産</p>	<p>(5月) 持ち直している。</p>																
<p>輸出</p>	<p>(5月) 緩やかな増加が続いている。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>地域</th> <th>4月</th> <th>3MA</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>全体</td> <td>+0.1%</td> <td>+0.5%</td> </tr> <tr> <td>アジア</td> <td>+0.6%</td> <td>▲1.3%</td> </tr> <tr> <td>アメリカ</td> <td>▲0.9%</td> <td>+0.9%</td> </tr> <tr> <td>EU</td> <td>▲4.3%</td> <td>+6.2%</td> </tr> </tbody> </table>	地域	4月	3MA	全体	+0.1%	+0.5%	アジア	+0.6%	▲1.3%	アメリカ	▲0.9%	+0.9%	EU	▲4.3%	+6.2%
地域	4月	3MA															
全体	+0.1%	+0.5%															
アジア	+0.6%	▲1.3%															
アメリカ	▲0.9%	+0.9%															
EU	▲4.3%	+6.2%															
<p>国内企業物価</p>	<p>(5月) 緩やかに上昇している。</p>																
<p>消費者物価</p>	<p>(5月) 横ばいとなっている。</p>																
<p>海外経済</p>	<p>(5月) 世界の景気は、新型コロナウイルス感染症の世界的大流行の影響により、依然として厳しい状況にあるが、持ち直している。 先行きについては、持ち直しが続くことが期待される。ただし、感染の再拡大によるリスクに十分留意する必要がある。また、金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある。</p> <p>(4月) 世界の景気は、新型コロナウイルス感染症の世界的大流行の影響により、依然として厳しい状況にあるが、持ち直しの動きがみられる。 先行きについては、持ち直しが続くことが期待される。ただし、感染の再拡大によるリスクに十分留意する必要がある。また、金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある。</p>																